

ME マイスター60

Quarterly Letter

巻頭メッセージ

- 「マイスター 60 の企業文化」取締役社長 柴田一郎
- 羽ばたく新人営業開発部長
石井智 青山潔 与儀博 濁川龍郎 森本薫 小田部英一 鈴木重俊 増木義三
- 人材開発の現場から「再就職にあたってのポイント」人材開発部長 山田正良
- Quarterly Letter 編集後記

トピックス

企業理念

雇用機会を創出し、
人々の生きがいを弘め、
生涯現役文化をひらきます。

マイスター60の企業文化



取締役社長
柴田 一郎

東日本大震災の後、本年度、第一四半期も終わろうとしています。被災者の方、震災企業、地方自治体などは必死で復興に向けて活動されている状況を、報道で見るとつげ本当に頭が下がる思いです。

特に原発避難区域の住民の方は、家屋が無事なのに、目に見えない放射能のせいで避難されていますが、まさに故郷を捨てる覚悟なのでしょう。

その一方で、菅総理の民主党政権は今何をすべきかをわきまえず、相変わらずの菅政権延命政局に明け暮れており、今や日本の政治は世界から驚きの目で見られています。真の国のリーダーが現れ、日本という国を立ち直らせて欲しいと願うのは私ばかりではないと思います。

前回のQ1でも書きましたが、平成維新を行わねばこの国の将来はないと強く感じています。

シニア集団のマイスター60とは どんな会社でしょう

さて本題に移りますが、マイスター60とはどんな会社だと説明できるでしょうか？ 何をいまさらとお叱りを受けそうです。

当社をあらわすキャッチコピーは、

「年齢は背番号 人生に定年なし」ですがこれは当社を説明するときによく使われます。退職後も社会とつながりを持つていたい。仕事を通じて自己実現を図りたい。このような人々を対象に就業機会の提供を通じて、20年以上にわたる社会に貢献してきました。

これらは企業理念を表現する言葉でもあります。おかげさまで、益々このキャッチコピーの認知度も上がってきております。

では、マイスター60の企業文化は何かと尋ねられたらどう答えますか？

総合商社を例にとりますと、かつて三菱商事は「紳士的で組織で動く集団」、伊藤忠は「野武士集団」とか、「一匹狼の集団」とか言われていました。

当社には、どんな言葉がふさわしいのでしょうか？

本部社員（営業部員 業務部員 人材部員 管理本部員 企画）は、

- ① 異業種出身者の集合体（異文化の集合体）
- ② 個々人の昔の人脈が営業の基礎
- ③ 人材ビジネスはほとんどの社員が初めて経験する
- ④ 平均勤続年数が10年に満たない

このためなかなか社風（企業文化）が育ちにくい環境であるといえます。

本部社員のモチベーションは、シニアへの職場開拓という全社共通の目標達成でしょう。では 社風は？

実は本部社員には大きな共通部分があります。それは全員がシニアの集団です。

そこで、シニアの特性を社風にしたかどうかと思いましたが。

人を大切にできる精神を忘れず シニアのユートピアを目指します

シニアのいいところはなんでしょう！

- ・シニア同士の気持ちがかかる
- ・お互い、支えあう気持ちがある
- ・助け合おうという連帯感がある
- ・お互い心がこもった会話ができる

これらが最大限発揮できれば、シニアの特性を軸に共通の企業文化が醸成されます。

会社経営上、本部社員はそれぞれの目標を追究しながらも、社員にとっては明るく笑いがあがり、助け合いの雰囲気がある。まさにシニアにとつてのユートピアといえる社風を目指したいと考えます。

最後にお願ひがあります。

年に1〜2回求職者から私宛に手紙がきます。内容は「マイスター60にお世話になり本当に良かった。感謝しています」という手紙と、正反対のものもあります。つまり求職者からのクレームレターです。その内容は 大体のところ、当社社員の一部の面接時の対応が尊大に映るというようなことです。当社の社員も完璧ではありませんので、そのような対応振りに社員教育が徹底していなかった経営者の責任と自戒しています。

当社にとつてのお客様は、お得意様は勿論のこと、当社の門をたたいてくださる求職者も大事なお客様です。この精神を忘れず業務に励むようお願いいたします。

人を大切にするという気持ちこそがマイスター60の精神です。

羽ばたく新人営業開発部長

6年目にして新人営業に



東京支店
石井 智

平成18年3月入社の際は、この4月から営業開発部への配属となりました。

今まで5年間は内勤中心の勤務で、主に現業社員の皆様の動静を知ることが楽しみで、担当するエリアを回っておりましたが、直接会社の利益創出にはかわってまいりませんでした。

ところが、人生の終盤期にさしかかったところで営業部門へ、と言われて本当にビックリした次第です。営業の基本が何たるか、又、現役世代の人脈も全て途絶えてしまっている現状で、果たして何が出来るか疑問でしたが、とにかく前向きに挑戦してみることにし、スタートしました。

以前、ある先輩から、業務確認書一枚を書くのにどれだけ努力が払われてきたのか、どれほどの苦労の末に業務確認書が発行出来るようになったのか、分かっているまいだろう、と言われたことがあります。

私もこれから派遣会社の命というべき業務確認書を書くことが出来るのか、そして会社の命題と言うべき、どうしたらシニア層の雇用の開発ができるのか、本当の大変さはまだ見えておりませんが、

靴を減らし汗をかく所存です。

という訳で、志を同じくする会社の皆様との協力を得ながら、新人営業としての活動を開始しました。そして、現在の私の決意「自分の食い扶持は自分で稼ぐぞ」。

営業担当者の仲間入りをして



東京支店
青山 潔

本年4月1日より営業開発部へ異動しました。私は平成20年11月1日に入社し、2年5ヶ月間東京支店で業務担当として勤務してまいりました。この間は、旧東京事業部所属の現業派遣社員約90名の方々の労務・勤怠管理を中心に従事し、特に前任者退職後の2年間は、営業担当者の方と意思疎通を密にすることを常に心がけながらの活動でしたが、数多くの貴重な経験をさせていただきました。

業務の仕事に習熟できかけたかというところでの異動で、営業マンの仲間入りを見せていただき、新たな気持ちで新しい仕事に取り組みはじめたところです。

人材派遣の営業は（私は前職が電気メーカーの営業・企画部門でしたので）ひとことで言えば、「かたちのないものを売る」ところにむずかしさを感じます。加えて扱うものは「物」ではなく「人」であり、簡単に修理や交換ができないことで、営業担当者としての責任の重さを

強く感じます。今はまだわからないことばかりで、それだけに戸惑いも多い毎日ですが、「クライアント様と派遣社員の両方に満足を与える営業」をめざして、一歩一歩目標に向けて前進してゆきたいと思えます。

人材開発部門をはじめ、関係皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

私の思いと目標 背番号61番



東京支店
与儀 博

年齢は背番号 人生に定年なしのスローガンを見たときに、愕然としました。昨年の秋に新たな仕事を求め、活動していたときでした。自分で言うのは少し、ためらいがありますが、この年齢は、物事の道理がある程度、判る年代です。これらの年代を不要としてみようシステムに疑問があつたからです。お客様で、今、このような雰囲気のある会社に在籍させて頂き、社会の一員として、再度、出場できたことに感謝しています。

私は、日本のメーカーで造船機関部設計、トンネル技術、鉄道車両、ハイブリッド車両など携わり、設計から海外営業、営業開発まで一貫して経験してきました。この結果、さまざまな業界に知己や戦友を持つことができ、「昨日の敵は、今日の友」を競合会社の吸収で実感したこともありました。

これからは、今までの関係した会社やお世話になりました客先に当社の企業理念、雇用機会を創出し、人々の生きがい

を弘め、生涯現役文化を開きます。自分の言葉で感化し、普及させていきたいと思えます。

これからは、仕事と人材のベストマッチングと、生涯現役のこの組み合わせで営業活動を進めていきたいと思えます。みなさま、よろしく、お願いいたします。

常に切磋琢磨し次なるステップへ



東京支店
濁川 龍郎

入社前、古くからの友人に会う機会がありました。彼は昨年会社を定年退職し、再就職はせず悠々自適の日々を過ごしているとの事でした。

私は心身ともに丸くなった彼をうらやましく思いましたが、まだまだ働けるのになぜか元気がない彼を、残念でもったいないような複雑な気持ちでおりました。

そんな私が「マイスター60」に入社する事が出来、入社以来驚きの連続です。その驚きのひとつに、元気な社員、迫力満点の会議、活発な意見を目の当たりにし、この方たちは本当に「定年」を迎えた人たちの集団なのだろうか。ふと「諦念」という言葉が頭をよぎりました。

「諦念」とは「川に棹させば流される」とか、「第二次世界大戦」や「バブル期」のように、いくらおかしいと気付いていても大きなうねりに飲み込まれていくさまのようにも使われます。

ただここでの「諦念」とは、今生きているのは社会全体に生かされていると考

える事。家族、職場、友人などを含め、「森羅万象」と自分が関係しているからこそ縁を大切にすることをめざす。

だからこそ歳を重ねることにエネルギーを注ぎ、自分を切磋琢磨し次なるステップに立つ事が出来るのでしよう。

大変厳しい社会情勢の中「ピンチを生きかすチャンスを作る」「ゆっくりでも着実に」の精神で、今後とも社会に貢献できる会社の一員として、生き生きとした毎日を過ごしたいと思います。

現在の心境



東京支店
森本 薫

これまでの60年の人生においてこの数ヶ月ほどあたたかいのは初めてであった。まず、60歳の定年をひかえて第二の人生のための就活の開始、還暦の誕生日、地震、3月末の定年退職、マイスター60との出会い、面接、内定、5月の入社。そして潜在顧客訪問の日々を送る現在。

マイスター60に入社したことは運命的なものを感じる。「生涯現役文化」は自分の信条であるところの「人生二毛作」にぴったり合い、まさに60歳にして新入社員の心境であるからだ。

現在、私はシニアのホワイトカラー出身者の雇用の創出にも取り組んでみたいと思っている。これが困難な命題であることは自分自身の就活において身を以て体験したことでもある。

また、顧客廻りをしていると、私と同年代の人達からのこの種の要望をひしひしと感じる。中小企業や海外も視野に入

れつつ、この難題に取り組みたい。働く意欲のあるシニアホワイトカラー出身者はこれからますます増えるだろう。急激な高齢化社会の進展で必然的な傾向といえよう。

そういうわけで現在、職の創出の下地作りのため、年内は新規顧客をできるだけ数多く廻ることを心掛けている。客廻りをしているときのみならず、飲んでいるときや、趣味の柔道をしているときもすべてが仕事に結び付けてくる。

先輩の皆さんからアドバイスいただいているように、あせらず、じっくりやっていきたい。

前職を活かし領域拡大を



南関東支店
小田部 英一

南関東支店に12月1日付で入社した小田部と申します。北海道生まれの59歳です。バイクツーリングが趣味です。前職はゼネコンで設備工事の施工管理、環境アセス、建物劣化診断、長期保全計画書作成等の仕事を経験しました。

前職の経験を活かし、設備管理関連領域を拡大したいと考えています。現状は主に東京ビルメンテナンス協会会員名簿を参考に、未取引のビル管理会社に営業を行っています。不動産会社、プラントメーカー、設備メーカーへと営業領域を拡大したいと考えています。

関連法規（建築基準法や消防法等）を熟知しているだけではなく、劣化の判断や長期保全計画書を作成提案し、会社経営に寄与できる技術者を紹介したいと考

えています。その為、単純に技術者を募集紹介するだけではなく、ある程度簡単な教育？をすることも必要だと思えます。但し経験を積んだ技術者はある程度保全に関する知識があるので、第三者が納得できるように説明できる書籍等を紹介するだけでよいと思います。

面接時に具体的に書籍名を話すことができれば有利だと思います。

求職者は謙虚さを 求人企業は柔軟さを



南関東支店
鈴木 重俊

日々の業務お疲れ様です。

平成23年5月23日付で入社し南関東支店勤務を拝命頂いた鈴木重俊です。

原産地は茨城県の水戸市で現在地は埼玉県朝霞市に妻と2匹の猫とで暮らす55歳です、ちなみに住宅ローンはあと25年あります（しんどいです・・・）。

新卒で入社したのは証券会社でした、その後専門商社と営業の請負会社を経て前職は投資顧問会社でセミナーの運営や営業管理職に携わってきました。

団塊の世代のリタイアによる技能や経験の継承問題が言われて久しい中、今の現実には社会にとっても、又リタイアされた方にとっても多くのミスマッチを生んでいるのが今の日本における高齢者を取り巻く雇用の現実ではないでしょうか？

ゆえに私は、時には耳障りであったにしても、求職者の方には謙虚さを、求人企業には柔軟さを求めていかなければならないと思っています。ニーズとシーズが必ずしも一致してい

ない現実がそこに存在する限り微力ではあっても改善の礎でありたいとマイスター60での仕事を真摯に志しました。未だ経験不足ではありますが諸先輩のご指導、鞭撻を頂ければ幸いに存じます。

好奇心



大阪支店
増木 義三

何よりも好奇心が、私のすべてのバックボーンとなっています。

新しいこと、不思議なこと、奇妙なこと等々に出逢うと黙って見過ごすことが、私にはどうしてもできません。

冒険の扉。例えば、極寒の夜どこかの街の終着駅に降り立って、ひとり歩いていると向こうから、ロシア系の美女が、黒テンのコートを纏い、私に駆け寄ってコートポケットから何故か熱々のロールパンを私の手に渡し、金のハサミで私のコートのボタンを一個切り取って、小声で「二等辺三角形」と言って駆け去っていきます。

私がロールパンを捨て、ボタンを捨てて、「・・・変な奴やなあ」で終わると冒険の扉は開きません。

あなたならどうしますか？ 私はこのような不思議な事態でも前向きに受け入れます。

そして、冒険の扉は開くのでしよう。そんな好奇心と冒険の心を持って私は、仕事に取り組んでいきます。

私の仕事は人の人生に深く関わります。私の仕事には重い責任があります。私はこの仕事を誇りに思います。

―人材開発の現場から―
再就職にあたってのポイント
人材開発部長 山田 正良

昨年五月に入社してから、早いもので1年が経ちました。現在、私は、東京支店で人材開発の業務に携わっています。今回「マイスター60に求められる人材」をテーマに寄稿して欲しいとの依頼をいただきました。

そんな訳で、業務を通じたこの1年間の総括を含めて、これまで面談させていただいた方々などから感じた、「再就職にあたってのポイント」となる点を整理し、纏めてみました。

仕事への目標を持つ

「年齢は背番号、人生に定年なし」のスローガンの認知度も高まっている事もあり、シニア層を中心として、また、職種ではビル管理・設備管理の紹介が多い状況にあります。これらの業務には当然、資格のみならず経験が重要視されますが、応募される方の中には、特に目標を持たず、これまでに業務経験があると言っただけで、ただ漫然と応募されて来る方がいらっしやいます。



しかしながら最近では、スキルに関する要求レベルも上がりつつあり、また求人側の希望年齢も下がる傾向にあります。

このような状況において、シニア層に求められるのは、即戦力のプロとして、ただ経験・資格のみならず、これまでの仕事を通じての誇りや満足感など、仕事のやりがいや意欲、更には関連資格取得拡大への挑戦など前向きな姿勢があるかどうか、重要になると思います。

そのような姿勢がある方は、面接時等に相手に対して好印象を与え、応募時に問題視されていた年齢面を補うばかりか、業務へのハリも持てるのではないのでしょうか。

若さと健康を保つ

平均寿命も、まだのびる傾向にありますが、年齢とともに体力は低下していくのはやむを得ない事です。しかしながら仕事をする上では、肉体的にも精神的にも健康であることが大切な事は、言うまでもありません。

応募者の中には、顔色が悪くいかにも不健康そうな方や、外見はともかくとして、受け答えの反応が鈍い方がいらっしやいます。またパソコンを苦手としている方もまだ結構いらっしやいます。これでは活き活きと職場で活躍してもらう事は、期待出来そうにありません。

健康維持にむけての自己管理や身体を鍛える事は言うまでもありませんが、若さを保つには、良く言われているように、好奇心やチャレンジ精神、向上心を保ち続ける事が大切だと、面談を通じても改めて実感します。

「人間力」を持つ

「人間力」とは何か？ 色々と語られるところではありますが、人間的魅力があるかどうか、と言うことではないかと思っています。

能力やスキル面はともかくとして、最初に会ったときの感じや、その後の受け答えや態度、ほんの一寸した事でその人の印象が形づくられてしまいます。

面談の限られた時間の中で、相手の人となりを見極める事は難しい事ではありますが、第一印象の大切さを感じます。中には、自己中心的な言動や態度丸出しで、残念ながら面談自体が不快になってしまう事もあります。

自分が人からどう見られているのか、また自分が人にどう影響しているのかを、客観的に見つめてみる事が大切なのではないのでしょうか。

職場は自分中心に動いている訳ではありません。目標達成にむけ、それぞれが明るく前向きな姿勢で、回りの人と上手くコミュニケーションをとっていく事が大切だと思います。

人を採用する立場から、思いつくまま纏めてみましたが、翻ってみると自分自身に対して、自問自答してみるべきテーマではないかと実感します。

また、MS60に求められる人材と云えども、基本は一般に求められる共通したものであると思います。

私自身、豊かな人生を送っていくためにも、絶えず自分のブラッシュアップを心がけるべきと、今回寄稿するにあたり、あらためて感じた次第です。

編集後記

今年も夏が巡って来ました。

政府は、7月1日からの東京電力、東北電力管内にある大口電力需要家に対して、昨年比15%の節電を義務付けました。その電力使用制限令を受け、対象にならない企業や各家庭なども積極的に省エネに取り組んでいるようです。そう言えば、日よけでゴーヤ栽培を始めた家庭も多いとか・・・

マイスター60も、親会社の省エネ対策と一緒に取り組み、6月度は昨年と比べて最大需要電力約20%の削減に成功しました。

マイスター60は、設備管理要員を多く派遣していますので、様々なビルで技術的な貢献をしています。

便利な生活をしていると、なかなか省エネを受け入れ難いところもありますが、自分一人くらい大丈夫、と言う気持ちを捨てれば、かなりの無駄は省けるでしょう。地球にやさしい環境は、温暖化抑制など、結局は人にも優しい環境になるのかもしれないですね。

今年の夏は昨年のような猛暑にならないことを祈ります。

Quarterly Letter

(編集・発行)

ME **マイスター60**

〒141-0031
東京都品川区西五反田7-19-1

株式会社マイスター60
経営企画室 山口 聡美

TEL.(03)6431-9360
FAX.(03)5487-8219
e-mail:quarterly@mystar60.co.jp